

6月21日 大分県九重町立野上小学校において自主研究として防災学習会を行いました

6月21日（金）大分県九重町立野上小学校様の御依頼により、同校5-6年生計39名の児童の皆さんに「身近な場所で起こる土砂災害を学ぼう！」と題して、3名の講師を派遣し、防災学習会を行いました。本地区は令和2年(2021年)7月に豪雨災害に見舞われ、被害のあった世帯も多くあります。

「自分たちの地域は自分たちで守る」ことが出来るように、当センターの自主研究として今後も野上小学校と連携し、アンケート調査などにより防災教育が地域に波及する効果などについて調べていく予定です。



授業の様子

提供：野上小学校



防災ワークショップの様子

提供：野上小学校



防災ワークショップの様子

提供：野上小学校



土石流対策模型実験の様子

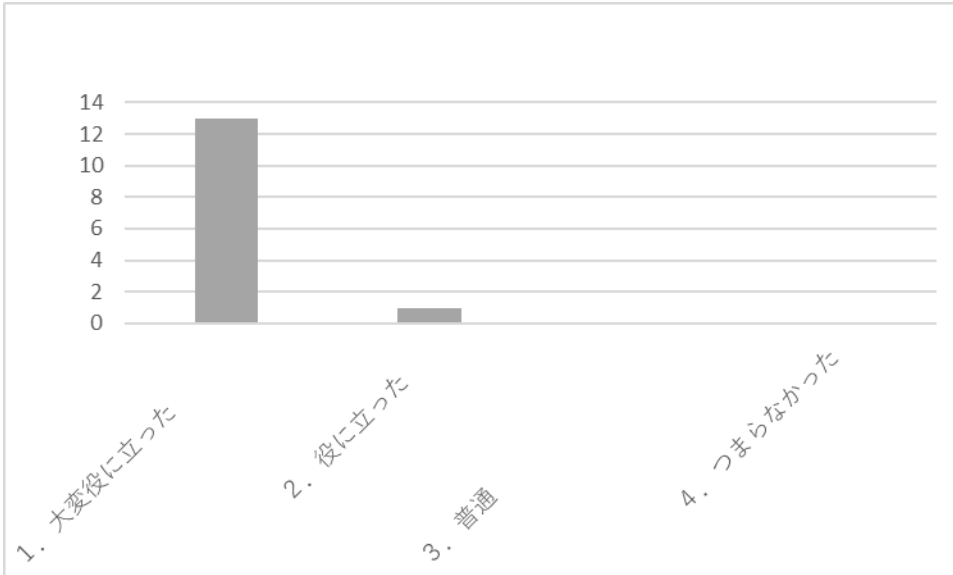
野上小学校における防災学習会の効果(速報)

今回の防災学習会では5年生14名の児童がアンケートに答えて頂きました。

今回はアンケート結果の代表的なものについて報告させていただきます。

残りの質問や6年生25人の児童の結果も含めた全体の結果は、今後改めて報告させて頂く予定です。

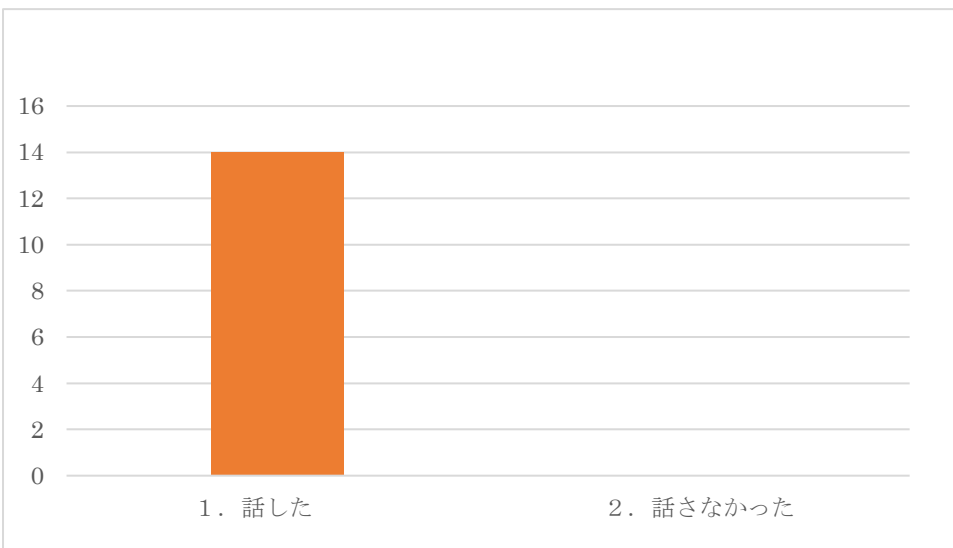
Q1：防災学習会で九重町の災害について勉強しましたが、役に立ちましたか？



⇒今回の防災学習会では14名中13人の児童が「1. 大変役にたった」と答えている。

「2. 役に立った」を入れると全員が役に立ったと回答しており、防災学習会は効果的であったと言える。

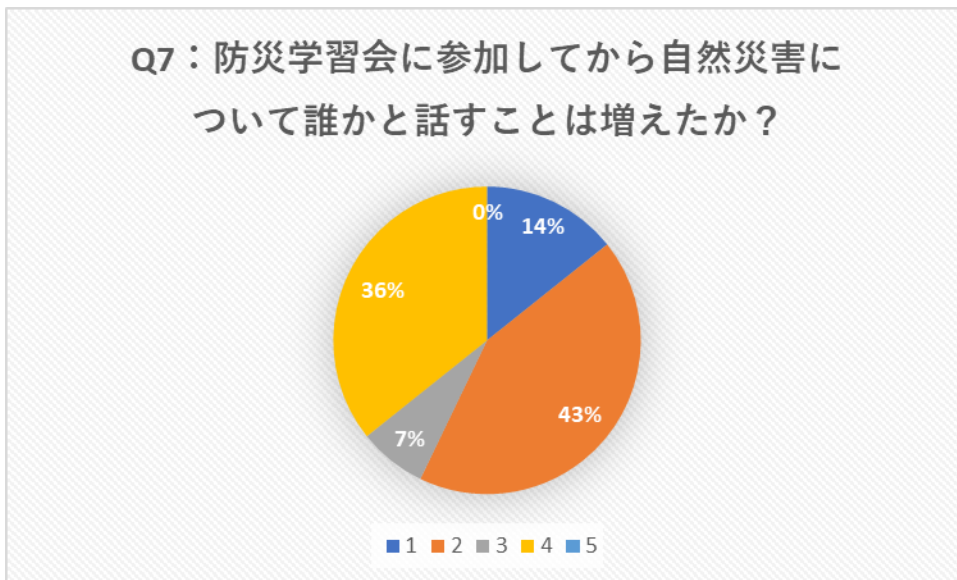
Q3：今回の防災学習会の授業の内容を家族に話しましたか？



⇒5年生14人全員が家族に防災学習会について話したと答えた。

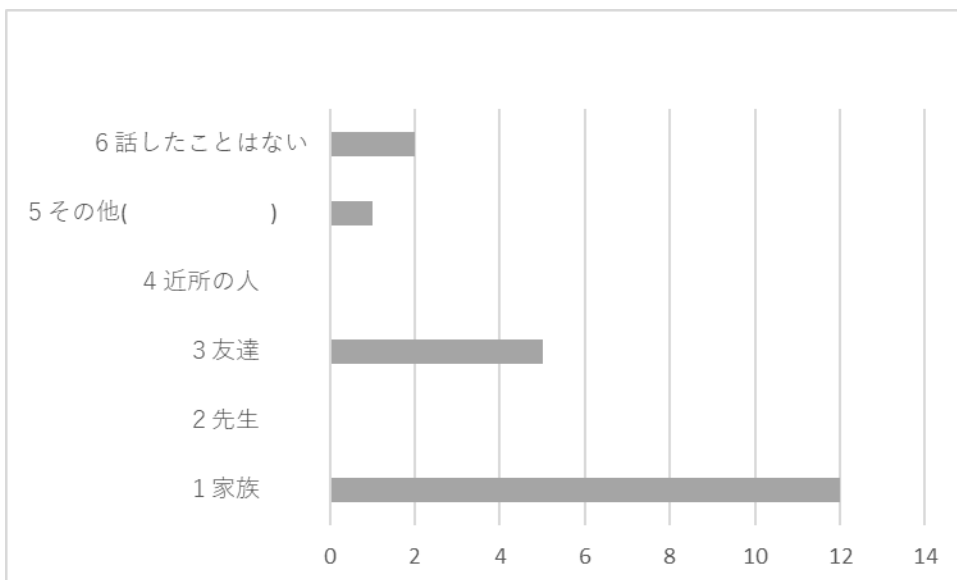
小学校での防災学習会は家族にもその効果が伝わると言える。

Q7：防災学習会に参加してから、自然災害について誰かとお話することは多くなりましたか？



⇒「1. 前よりもたくさん話すようになった」2人、「2. 前よりも少し話すようになった」6人と14人中、半分以上を占めている。一方、以前と変わらない児童も半分近くいる。「3. 前とあまり変わらず、よく話す」が1人、「4. 前とあまり変わらず、あまり話さない」が5人いる。話さないのは防災への理解が進んでいないのかの分析が必要と思われる。

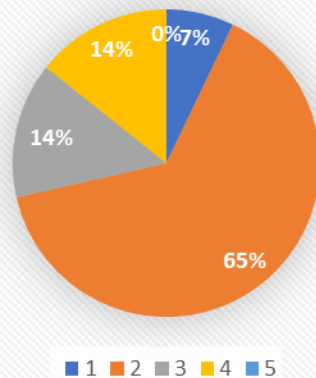
Q8：自然災害についてお話するとき、誰とお話ししますか？



⇒「1. 家族・12人」が一番多く、次いで「3. 友達・5人」が多い。小学校での防災学習会は家族にもその効果が伝わると言える。

Q9：防災学習会に参加してから、自然災害について調べたり、質問したりすることは多くなりましたか？

Q9：防災学習会に参加して、自然災害について調べたりすることは多くなったか？



⇒「1. 調べることが前よりも多くなった」1人、「2. 調べはしないが、気にすることは多くなった」9人と14名中10人が自然災害について気をつけたり、調べることが多くなったと答えている。

他は、「3. 前と変わらず、災害についてよく調べる」2人、「4. 前と変わらず、災害についてはあまり調べない」2人、「5. 前よりも調べなくなった」0人である。

ただし、時間の経過とともに、こうした防災への関心は低下しがちなので、学校で実施する教科学習（社会、理科）などとの連携が必要である。